

【いこいの里のコンセプト】

◆コンセプト 1

『市民参加で創る、人と自然のつながりを思い出し体感する場』

◆キャッチフレーズ

いこいの里はスローライフの発信地 ～楽しみながら人と自然のつながりを創り出そう～

◆基本方針

- いこいの里が持つ場の力（自然、歴史、景観など）の活用
- 農、林、食、環境、自然など体験事業の拡充
- 世代を超えた市民活動の場の創出
- 企業、NPO、市民など幅広い参画
- 地産地消の推進とブランド化
- 家族連れ、高齢者（アクティブシニア）をターゲット

◆コンセプト 2

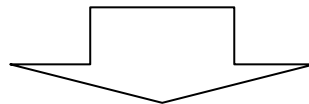
『食農教育』

◆キャッチフレーズ

「いのち」に直接つながる食や農業について、体験や交流、学習ができる施設

◆基本方針

- 「いのち」を「いただく」ことの大切さや日常生活能力の基礎である「食」の再認識
- 本やインターネット（視覚）では伝わらない感触（臭覚、味覚、触覚）などを「感じる」
- 「植物」を育てることは、大きな労働を伴うことを実感する。
- 子供だけでなく、主婦層や高齢者層も対象とした体験メニューや、ボランティア活動等の機会を提供し「生涯学習」につなげる。



◆あぐりの丘地域（約50ha）

「ふれあいのあるまち」

●エリアの基本方針

交流と体験・遊びを通して、人と人・人と自然がふれあい、新たな発見や賑わいが生まれる場

- ・料理体験
- ・収穫体験
- ・工作体験
- ・市民バザール
- ・ちびっこ広場
- ・ふれあい動物広場
- ・親水広場
- ・木工・陶芸体験
- ・小動物とのふれあいなど

◆里山再生地域（約50ha）

「人と自然のつながり」

●エリアの基本方針

市民参加による里山復元と里山体験し、昔懐かしい里山を思い出させる場

- ・お茶摘み体験
- ・田植・稲刈体験
- ・里山ウォーキング
- ・梅、柿、栗などの季節を感じる景観整備
- ・焚き木とりと炭焼き体験
- ・往還道周囲の整備など

◆森林地域（約130ha）

「自然環境」

●エリアの基本方針

市民参加のもと、森林、散策路整備と自然体感する場

- ・間伐、植樹体験
- ・自然観察
- ・昆虫の森
- ・市民手作りの散策路整備
- ・くぬぎ林、コナラ林、アベマキ林などの整備
- ・案内、誘導看板の設置
- ・ビオトープと水生動物観察など